

外国語教育メディア学会 LET 九州・沖縄支部だより	第 75号(2021 年 6 月 25 日) LET 九州・沖縄支部事務局発行 〒862-8680 熊本市中央区大江 2-5-1 熊本学園大学 研究棟 302 号 林幸代研究室 TEL: 096-366-3230(代表) E-mail: secretariat@j-LET-ko.org 編集: 大下晴美・竹野茂・事務局
--	---

June 2021 LET Kyushu-Okinawa Chapter No. 75

Table of Contents

・外国語教育メディア学会(LET)第 60 回全国研究大会のご案内(植田正暢)	1 頁
・学術講演会に参加して(麻生雄治)	2 頁
・事務局からのお知らせ	4 頁
・編集後記	5 頁

外国語教育メディア学会(LET)第 60 回全国研究大会のご案内

LET 第 60 回全国研究大会実行委員長
植田 正暢 (北九州市立大学)

新型コロナウイルス感染症の影響で 1 年延期された第 60 回全国研究大会が、いよいよ今年の 8 月に開催される運びとなりました。開催方法は前号で既報のとおり、オンラインでの開催となります。LET として全国大会をオンラインで開催することは初めてのことであり、しかもその初めてのオンライン大会を運営するのが九州・沖縄支部となりました。未経験の開催方法に、てんやわんや、右往左往、上を下へといくつ言葉を重ねても足りないくらいに苦心を重ねながら準備をしているところです。6 月 7 日に大会ホームページをリニューアルし、参加登録の

受付を開始しました。オンライン大会という性質上、従来の大会とは異なり、当日受付がありません。7 月 31 日までに参加登録を済ませてからご参加くださいますようお願いいたします。

大会テーマは当初より変更なく、「外国語教育におけるユニバーサルデザインの現状とニーズ」です。2016 年に「障害者差別解消法」が施行され、誰もが自分の力を最大限発揮できるようにするための合理的配慮が教育現場でも求められるようになりました。今大会では特に発達障がいやディスレクシア(識字障がい)がある学習者を中心に、障害のあるなしにかかわ

らず誰もがアクセスしやすい教育を実現するための課題について考えます。

基調講演では、発達障がい・学習障がいのある人に対する教育的支援の研究・実践において第一線で活躍されている竹田契一先生（大阪医科薬科大学 LD センター顧問）、飯島睦美先生（群馬大学）にご講演いただきます。また、全体シンポジウムでは大会テーマについて、雪丸尚美先生（北九州市立大学）、村上加代子先生（甲南女子大学）、佐藤良子先生（麗澤大学）にそれぞれの立場からお話しいただく予定です。

大会はライブ配信とオンデマンド配信を組み合わせで行います。オンデマンド発表は 8 月 13 日から配信を始めます。基調講演と全体シンポジウム、およびおよそ 30 件の研究発表と公募シンポジウム 1 件はオンデマンド動画で発表を配信し、質疑応答のみ 8 月 21 日から 22 日の間にライブで配信します。お時間のあるときに事前に発表を視聴いただいてから Q&A セッションにご参加ください。またライブ配信のみで行うプログラムを 8 月 20 日から 22 日にかけて予定しています。8 月 20 日にはワークショップが 8 講座開かれます。8 月 21 日、22 日には研究発表と公募シンポジウムあわせて約 30 件が予定されています。対面による研究大会をそのまま再現とまではいきませんが、発表から質疑応答まですべてをライブで楽しんでいただ

ければと思います。プログラムの詳細は大会ホームページでご確認ください。みなさまのご参加をお待ちしています。

【大会の概要】

大会ホームページ:

<https://www.j-let.org/let2021/>

大会テーマ:

外国語教育におけるユニバーサルデザイン
の現状とニーズ

【日 程】

大会への参加登録締切: 2021 年 7 月 31 日

オンデマンド配信:

2021 年 8 月 13 日(金) ~ 8 月 29 日(日)

ライブ配信:

2021 年 8 月 20 日(金) ~ 8 月 22 日(日)

【基調講演】

「LD・Dyslexia への英語教育の課題」

(竹田契一・大阪医科薬科大学 LD センター
顧問)

「ユニバーサルデザイン英語教育: 知ることで
気づき、気付くことで始まる手立て」

(飯島睦美・群馬大学教授)

【全体シンポジウム】

コーディネーター兼パネリスト

雪丸尚美(北九州市立大学)

パネリスト 村上加代子(甲南女子大学)

パネリスト 佐藤良子(麗澤大学)

学術講演会に参加して

LET 九州・沖縄支部運営委員

麻生 雄治 (大分大学)

昨年来、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、日本だけでなく世界の多くの学校でオンラ

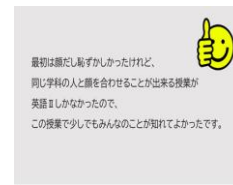
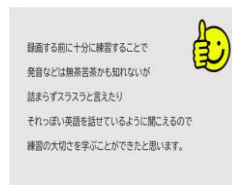
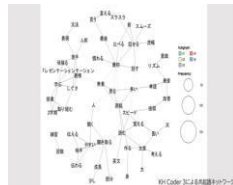
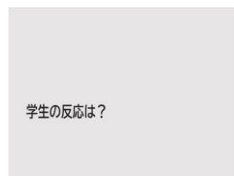
イン授業が行われている。これは他人事ではなく、私自身も昨年 4 月に現任校に赴任してい

きなりオンライン授業をすることになり、かなり戸惑ったことを思い出す。目の前に学生はおらず、カメラ越しに授業をするのは初めてのことで戸惑った。今でも上手なオンライン授業はできず、試行錯誤が続いている感じである。そこで効果的なオンライン教授法はないものかと思いをめぐらすことになるが、我が意を得たりとばかりに今回の学術講演会のテーマは「遠隔授業四方山話」であり、その答えを得るよい機会となった。

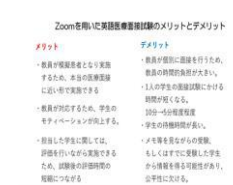
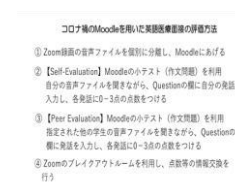
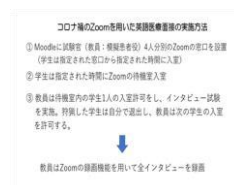
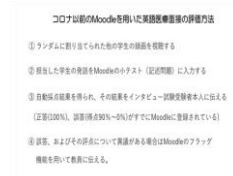
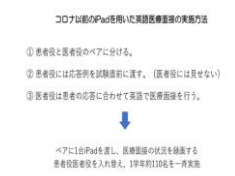
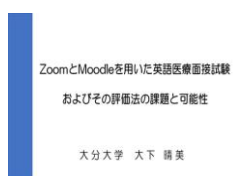
植田先生の「遠隔授業における英語プレゼンテーション科目の実践報告」では、**Flipgrid**という、教員が用意したボードに学生が自由にビデオを投稿することで、教員と学生、あるいは学生同士がディスカッションできるアプリ(ツール)を活用した実践が紹介された。このツールは画期的で、教員の提示した課題に学生はビデオを投稿して答えることができたり、投稿されたお互いのビデオを見あってそのビデオに対してビデオでコメントしたり評価したりすることができ、双方向でのコミュニケーションを可能にする。それぞれがビデオを作成するという作業において、失敗すれば何度も撮り直すことができ、ここで繰り返すことにより英語表現の練習になる(アウトプットの強化)。また、実際の会話では相手の意見が聞き取れないこともあるが、これは何度も繰り返し視聴することができるので聞く練習にもなり(インプットの強化)、英語学習において有効である。価格や保存容量の問題、また児童・生徒の個人情報や肖像権の問題などが気になるところだが、無料な上に、保存容量や期間に制限はなく、セキュリティも頑丈で安心して使用できるようである。

大下先生の「**Zoom** と **Moodle** を用いた英語医療面接試験およびその評価法の課題と可能性」では、英語医療面接の実践が報告された。コロナ禍になる前から **iPad** や **Moodle** を活用し、学生が相互に録画を視聴しての **Peer Evaluation** を取り入れるなどの授業実践の実績があり、コロナ禍でのオンライン授業ではさらに進化した、**Zoom** を活用しての双方向での授業実践だけでなく評価(テスト)までやってしまうという画期的な実践であった。患者役の教員と医者役である学生のやり取りは対面授業とオンライン授業との差を感じさせないオーセンティックな実践であり、また **Self-Evaluation** や **Peer Evaluation** を含む細かな評価法も提示されており、これによりフィードバックを与えることも容易になるよう工夫されていた。実際に学生たちが意欲的に取り組んでいる映像もあり、対面授業と同様の達成感や成就感が得られていると思われた。

GIGA スクール構想により学習者1人1台の端末が整備されることになった。最近の子どもたちは機械(端末)に対する抵抗やアレルギーはなく、むしろ好意的に、意欲的に扱えるようである。かつては「手はおひぎ、お口にチャック」のように静かに先生の話聞くのが典型的な授業スタイルであったが、これからは対面であろうとオンラインであろうととにかく学習者を動かして、学習効果を高めるかがアクティブ・ラーニング時代の課題の一つであろう。とはいえ、1日も早く新型ウィルスの感染拡大がおさまリ、従来のように対面授業ができる日が待ち遠しい(のは私だけだろうか)。



植田先生の講演資料(一部抜粋)



大下先生の講演資料(一部抜粋)

事務局からのお知らせ

【新会員(2021年6月1日現在)】

<正会員・個人会員>

Richards Paul(宮崎国際大学)

HINE ANDREW(福岡教育大学)

<正会員・学生会員>

森部 想水(九州大学大学院)

BALMAN REZKY(九州大学大学院)

【支部紀要第21号発送】

支部紀要第21号を5月中旬に発送いたしました。もしまだお手元に届いていない場合には事務局あてにご連絡ください。

【LET第60回全国研究大会のお知らせ】

昨年延期となりました第60回全国研究大会

は、2021 年 8 月 20 日～22 日の日程でオンライン開催されます。現在参加登録受付中で、**事前登録は 7 月 31 日締め切り**です。皆様のご参加をお待ちしております。詳しくは大会 HP をご覧ください。
<https://www.j-let.org/let2021/>

【会費納入のお願い】

2021 年度の会費振り込みのお願いが、登録住所宛に送付されていると思います。まだお振り込みいただいていない会員の方は、お早めにお振り込みいただきますようお願いいたします(個人会員・団体会員は 6,000 円、学生会員は 3,000 円)。未納の状態が続く場合には支部からの発送物を停止させていただく場合がございます。支部の円滑な運営の為にもご協力をお願いいたします。なお住所・所属等に変更が生じた場合には、学会本部の HP より変更していただきますようお願い

お願い申し上げます。

【会員情報更新のお願い】

新年度になり、支部にご登録の情報(住所・ご所属等)に変更がございましたら、本部 HP より情報を更新いただくか、事務局あてにご連絡ください。

【LET ホームページ】

<LET 本部> <http://www.j-let.org>

<LET 九州・沖縄支部>

<http://www.j-let-ko.org/>

【LET 九州・沖縄支部事務局】

〒862-8680

熊本市中央区大江2丁目 5-1 研究棟 302 号

熊本学園大学

林幸代研究室内

編集後記

昨年、今年と COVID-19 の感染状況に一喜一憂する日々が続いております。この 1 年で少しずつ慣れてきたとはいえ、日々の対応に追われる中、支部だより第 75 号の発行が遅れましたこと、大変申し訳なく思っております。この場をお借りいたしまして、お詫び申し上げます。

やっとワクチン接種が本格化し、早いところでは今月中に大学・職域接種が始まりそうです。夏ごろまでに順調に教職員・学生への接種が行われれば、後期はコロナ前のような対面授業が実現できそうです。あれだけ対面授業を心待ちにしていたものの、いざその状態に戻るとなると、オンライン授業もよかったのでは？と名残惜しくなってしまう今日この頃です。(大下)